

許しのその先に

ナン ハンニ アウン

「許す」という言葉は短く、口に出してみ  
るのは簡単ですが、深い意味があり、実践す  
るのはなかなか難しいことです。世の中には  
仕事や家庭など様々なことについて許せない  
人が数多くいます。許すことのメリットを知  
りつつ、私達はなぜ簡単に許すことができな  
いのでしょうか。

私は未だ子なので、家族全員に愛され、何  
でもみんながすぐにやってくれました。その  
ため、私は自分が思ったとおりにならなかつ  
たら、すぐに怒ってしまう癖がついてしまっ  
たのです。幼い頃は、貸してあげた鉛筆や本  
などを友達が返してくれないと、その友達と  
話さなくなったりもしました。そんな何でも  
ない小さなことですが許すことができない短  
気な私だったのです。他人に対して憤りの気  
持ちを持ち続けることがよくないということ  
も分かりませんでした。

そして、高校生になる時、母は進学のため  
に私をヤンゴンという都会へ行かせました。  
私は世の中のことがよくわからないうまま、親  
元を離れ、寮で違う地域の人達と生活するこ  
とになったのです。寮では一つのシャワール  
ームを20人が限られた時間内に使わなければ  
なりません。ある日、私はルームメイトの順  
番なのに間違えて、先にシャワーを浴びてし  
まいました。残念なことに、私がシャワーを  
浴びて10分も経たないうちに「今から二日間、  
水が使えなくなる」というお知らせが届いた  
のです。

私はどうしたらいいかわからず、謝っても  
許してもらえないと思いました。しかし、彼  
女は怒ることなく「いいよ。」と笑顔を返して  
くれました。私は彼女の寛容さに驚き、自分  
自身が恥ずかしくなりました。

また、こんなこともありました。大きな試  
験の前に、彼女が丁寧にメモを取っていた本  
をなくしてしまったのです。その時も、彼女

は怒ることなく「次はそんなことしないでね」と穏やかに言ってくれました。私は心の広い彼女に今でも憧れてやみません。彼女は私の未熟な部分、認めたくない部分を映し出してくれているようで、自分自身が見えたような気がしました。彼女から、人を許すことの術を学んだように思います。誰でも遅かれ早かれ許してもらわなければならない状況が生じます。世の中には完全な人がいるわけではないので、ミスをした人を許せるかどうかが大切だと分かりました。それに、人を許すと心だけではなく体も緩み、幸せな気持ちになって、いいことが次々に起こることに気付きました。これは、彼女に出会ったからこそ気付けたことです。それ以降、何か問題があってもすぐに怒らず原因をよく考え、できるだけ許そうと心がけるようになりました。彼女はほんの数週間私を変えたのです。「許し」について語るうえで、避けて通ることのできない人物がいます。それは、ミヤ

ンマーの国家顧問に就任したアウン・サン・スーチーさんです。彼女は、政治的理由で15年以上の自宅軟禁下に置いた軍隊を、責めることなく許しました。そして、「人は大人になるにつれ、昔のように全てに素直でいられなくなったり、社会の嫌な所を目にする機会が増えます。しかし、他人の立場に立って考え、許せるように心がけるべきだ。」と演説をしました。私達は大きなこと、未来のことばかりに気を取られてしまい、小さなこと、目の前にあることを見過ごしてしまいがちです。しかし、大事なことというのは、小さなことや目の前にあることから始まるのであって、世界の平和も身近なことを許すことから生まれるのだと、スーチーさんは許しの大切さを語っています。

スーチーさんは彼女を批判する軍隊や一部の国民を許し、彼女の努力と才能で国に平和をもたらしています。さらに、国の発展のために、経済面だけでなく国際協力にも力を

入れています。私は彼女の愛や行動を尊敬してやみません。ですから、私もできることから頑張り、いつか彼女のように国の発展のために力になりたいと考えています。

許すことは勇気がいることですが、他人を許すことで相手のいいところも見えてくるし、自分の劣等感も知ることができます。それに、嫉妬や怒りで心が汚れそうな時も、穏やかな気持ちを取り戻すことができます。

許しは、怒りや悲しみのある所へ喜びを、争いや対立のある所へ平和をもたらす力があります。ですから、許すことは平和のスタートであると言っても言い過ぎではないでしょう。私達一人一人が許すことの大切さを認識しながら行動すると、いつかきっと平和な世界、穏やかな社会が作れるはずで、そんな日が少しでも早く来ることを、私は願ってやみません。